

川根本町の決算です！

令和4年度の決算が9月定例会で認定されました。一般会計と6つの特別会計の決算額は、歳入総額が93億644万円、歳出総額が83億1,104万円となりました。

町政は、皆さんの大切な税金をもとに運営されています。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的で使用されたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

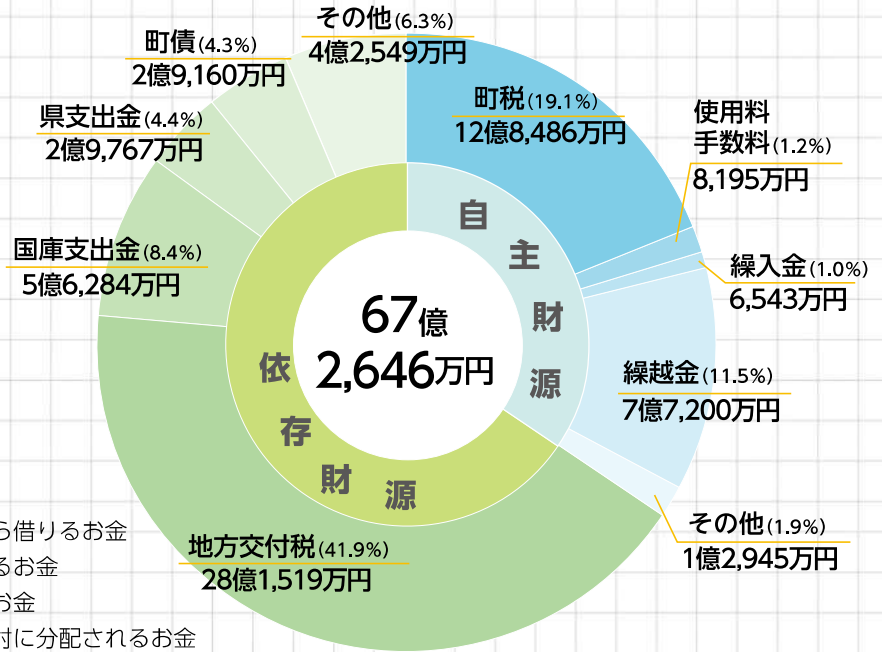
一般会計 歳入

依存財源は、**65.3%**
歳入全体の約
前年度から約 **2.8億円減少**

自主財源は、**4.5億円増加**
前年度から約

用語解説

- 町税・・・町民税・固定資産税・軽自動車税など
- 繰入金・・・基金から繰り入れるお金
- 繰越金・・・昨年度から繰り越したお金
- 町債・・・町が事業を行うために国や金融機関から借りるお金
- 国庫支出金・・・国が特定の事業に対して交付するお金
- 県支出金・・・県が特定の事業に対して交付するお金
- 地方交付税・・・国や県が徴収した税のうち市町村に分配されるお金



町政の運営は、町民の皆さんからいただいた税金によって成り立っているのです。皆さんにその使い道を公表する義務があります。

本号では、「令和4年度決算」を見ながら、川根本町の財政状況をわかりやすく説明します。

決算から分かること

町の決算は、予算に対して、実際の行政活動の結果を示したものです。上のグラフは令和4年度の一般会計決算の状況です。1年間に町に入ってきたお金「歳入」は、町税や地方交付税などに分類し、町が払ったお金「歳出」は、その目的別に分類しています。町が自由に使い道を決めることができる自主財源がどれくらいあったのか、またどのような事業にどれだけのお金を使ったのか確認することができます。

一般会計

歳入について

歳入の状況をみますと、自主財源が23億3368万円【+4億4901万円】34.7%、依存財源が43億9278万円【△2億8757万円】65.3%となりました。自主財源の内訳をみますと、町税は、法人の償却資産増加に伴う固定資産税の増加により、12億8486万円【+4633万円】で、歳入全体の19.1%となりました。繰入金はいわゆる預貯金の取崩しですが、国から交付される森林環境譲与税が増額されたことにより6543万円【+2825万円】となりました。依存財源の内訳として、地方交付税は、年度末の追加交付があったため、28億1519万円で41.9%

会計	歳入	歳出
一般会計	672,646	578,300
国民健康保険事業特別会計	83,515	81,791
後期高齢者医療事業特別会計	12,806	12,779
介護保険事業特別会計	134,411	133,133
簡易水道特別会計	20,859	18,790
訪問看護事業特別会計	1,308	1,295
いやしの里診療所事業特別会計	5,099	5,016
計	930,644	831,104

● 令和4年度に実施した主な業務 (抜粋) ●

- ▶ 高度情報基盤の運営、庁舎内情報機器維持業務 … 1億 6,662万円
- ▶ 介護保険費 (繰出金・補助金等) … 2億 832万円
- ▶ 障がい者福祉事業 … 1億 9,832万円
- ▶ ごみ処理事業 … 1億 6,662万円
- ▶ 母子保健・予防・各種健康診断業務 … 8,892万円
- ▶ 若者交流センター等の運営費 … 1億 4,739万円

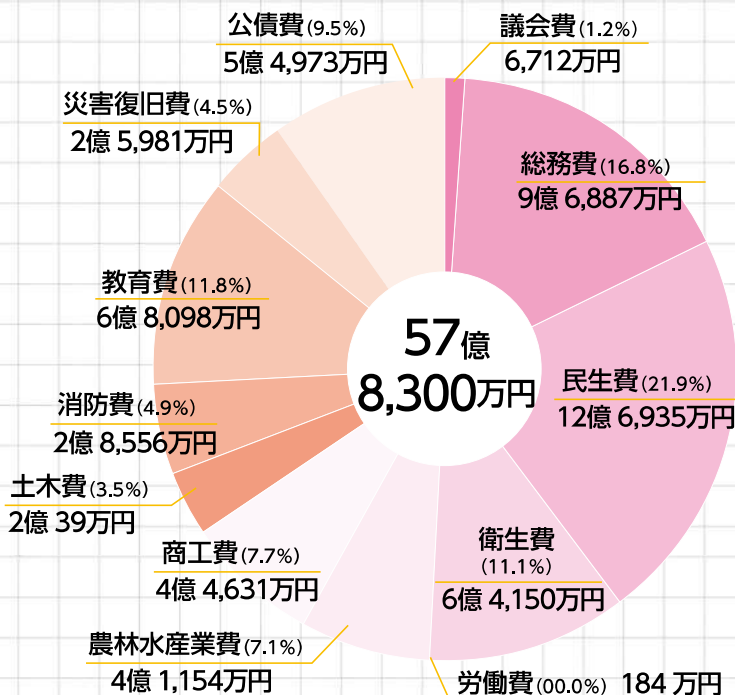
一般会計 歳出

衛生費が**増加** **5.5** 千万円プラス
前年度から約

総務費が**減少** **2.9** 億円マイナス
前年度から約

●用語解説

- 総務費 … 総務管理・戸籍管理・税務事務などの経費
- 民生費 … 高齢者・障がい者・児童福祉などの経費
- 衛生費 … 保健や健康づくり・ごみ処理などの経費
- 労働費 … 勤労者福祉の充実のための経費
- 農林水産費 … 農業・林業振興などの経費
- 商工費 … 商工業や観光振興などの経費
- 土木費 … 道路や河川・公園整備などの経費
- 消防費 … 消防や救急・消防団活動などの経費
- 教育費 … 学校教育や生涯学習の充実などの経費
- 災害復旧費 … 町道、林道の災害復旧のための経費
- 公債費 … 過去に借りた町債の返済経費 (元金の利子)
- 議会費 … 川根本町議会関係の経費



●歳出の状況

となり、昨年とほぼ同額の交付を受けることができました。町債は、財源不足を補てんするための臨時財政対策債の借入れが減少したことから2億9160万円【△1720万円】で4.3%となりました。

また、国庫支出金は、前年度を下回る5億6284万円【△1億8243万円】で8.4%となりましたが、これは、前年度には住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費補助金があったことによる影響です。

県支出金においても、前年度を下回る2億9767万円【△7963万円】で4.4%となりましたが、前年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金があったことによる影響です。

歳出の状況を行政目的別にみますと、総務費が9億6887万円【△2億9567万円】16.8%と大幅な減額となりました。これは、高度無線環境整備事業が令和3年度で完了したためです。また、土木費については、国庫補助事業である橋りょう補修工事が完了したことによる影響で2億39万円【△1億2759万円】3.5%と減額となりました。

一方で民生費は12億6935万円【+2182万円】21.9%と増額となりました。これは、保育園施設改修や台風第15号災害による災害救助費があったためです。同様に衛生費も6億4150万円【+5526万円】11.1%と増額となりました。これは、飲料水供給施設建設が行われたためです。また、災害復旧費について、台風第15号による町道および林道の改修工事の影響により2億5981万円【+1億4804万円】4.5%と大幅な増加となっています。

※詳細は、町ホームページで公開します。
下のQRコードにアクセスしてご確認ください。

詳しくは、
ホームページへ



Q 町の借金は どれくらいあるの？



町民1人当たりの借金は
約77万1千円です

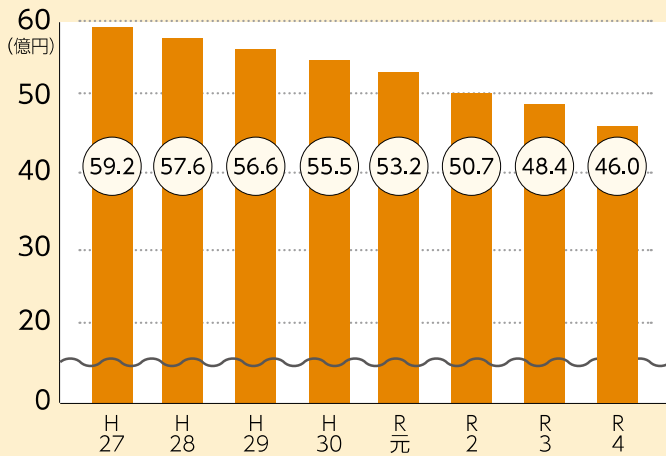
川根本町の借金は、令和4年度末で約46億円です。これを町民1人当たりになると、約77万1千円となります。(令和5年10月1日現在の人口で算出)

平成28年から7年連続で
減っています

合併直後(平成17年度)には約65億円あった借金は、現在返済が進み、今年は約46億円となり、約19億円減少しています。

学校や水道、道路などの公共施設の整備のほか、教育や福祉などの公共サービスを維持するためには多額のお金が必要です。そのお金を1年間の収入だけで支払おうとすると他の事業ができなくなってしまうます。町民の皆さんの負担を極力減らしながら、限られた財源や保有する資産を効果的に活用して、求められるニーズに添えています。

借金の現在高の推移



平成27年 ⇒ 令和4年
約13億円減少

現在残っている借り入れは、低利なものが多く、借金の返済分の7割以上を普通交付税で国が負担してくれる地方債が全体の90%を占めています。



将来の借金について
もっと詳しく

平成27年度に、高度情報基盤整備事業といった大規模事業があったため、一時的に借入残高は増えましたが、以降は、毎年の借入額が返済額を下回る年度が続き、借金の残高は緩やかな減少傾向が続いています。

また、合併前の2町で借り入れていた借金の多くが完済されつつあることも理由のひとつとして挙げられます。

借金の現在高と実質負担

借金の種類によって、返済に際し「普通交付税措置」があります。これは、簡単にいうと国が借金の返済を負担してくれるという制度です。

令和4年度末の借金残高が46億円で、町民1人当たりの負担が77万1千円ですが、国が負担してくれる分を差し引くと、実質的には約9億8千万円となり、町民1人当たり約16万5千円となります。

川根本町の主な基金の内訳

年度間の財源調整や災害時に使います

● **財政調整基金** …… 9億 4,480万円

川根本町の 特徴的な基金

人材育成・交流事業などのまちづくりのために使います

● **まちづくり基金** …… 2億 2,656万円

まちの均衡ある発展・地域振興のために使います

● **地域振興基金** …… 12億 2,001万円

地域福祉事業および福祉施設の充実のために使います

● **社会福祉基金** …… 3億 8,771万円

その他の基金

簡易水道施設の更新・改善、町債償還のために使います

● **簡易水道事業基金** …… 2,588万円

介護保険事業の健全かつ円滑な運営のために使います

● **介護給付費準備基金** …… 1億 6,162万円

国民健康保険事業の健全な財政運営のために使います

● **国民健康保険事業基金** …… 9,567万円

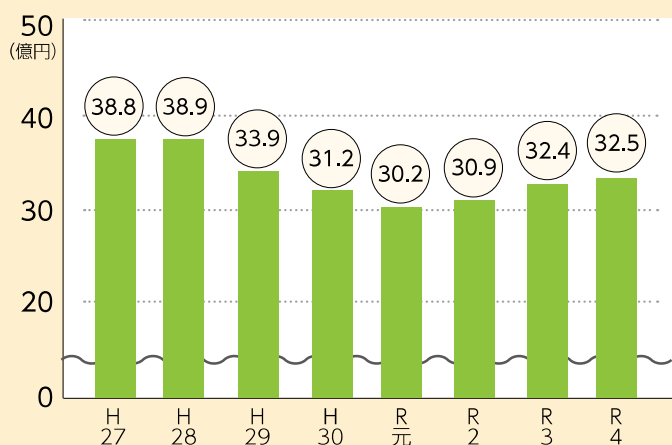
Q 町の貯金は どれくらいあるの？



町の貯金は、「基金」と呼ばれています。基金には、年度間の財源調整や災害時の緊急的な対応などに使うために積み立てている「財政調整基金」と、特定の事業に使用する目的で積み立てている「特定目的基金」があります。財政調整基金残高における令和4年度末残高は9億4480万円。町民1人当たりは15万8千円となります。

A
町民1人当たりの貯金は
約54万円です

貯金の現在高の推移



令和元年 ⇒ 令和4年

約 2 億円増加

まちづくり基金や地域振興基金が貢献。町の借金を減らしながら、貯金を増やしています。



町民1人当たりの借金と貯金がどれくらいか分かりました。町民に負担を掛けない財政運営に心掛けています



町は、令和元年度から4年度までの4年間で、約2億3千万円の貯金を増やしています。国の支援と財政状況の改善により、貯金の積立てを行ったこと、地方交付税が見込みよりも多く交付されたことで、貯金の取り崩しをせずに済んだことが大きな要因です。

貯金が増えたのは改善の
成果と新しい財源確保